

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 25 日(2023.8.25)

【公開番号】特開 2022-189224(P2022-189224A)

【公開日】令和 4 年 12 月 22 日(2022.12.22)

【年通号数】公開公報(特許)2022-236

【出願番号】特願 2021-97694(P2021-97694)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 17 日(2023.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 制御手段と、

当該第 1 制御手段から送信された送信情報に基づいて表示手段にて当該送信情報に対応する表示が行われるようにするための処理を実行する第 2 制御手段と、

を備え、

前記第 1 制御手段は、

所定契機が発生したことに基づいて、所定事象の期待度が第 1 状態とは異なる第 2 状態に設定する設定手段と、

前記第 2 状態である状況において、新たな前記第 2 状態の実行を待機させることを可能とする契機が発生した場合に待機情報を待機記憶領域に設定する待機情報設定手段と、

30

前記待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合に当該待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する待機後設定手段と、

を備え、

前記待機記憶領域は、

前記待機情報を記憶可能である第 1 待機記憶領域と、

前記待機情報を記憶可能である第 2 待機記憶領域と、

を備え、

前記待機後設定手段は、前記第 1 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況であって前記第 2 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合、それら待機情報のうち優先度が高い側の待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する構成であり、

40

前記所定契機が発生したことに基づいて前記第 2 状態となった場合にその第 2 状態に対する外端出力が所定端子から行われるようにするための外端用処理が実行され、前記第 2 状態である状況において前記第 2 状態の実行が待機される場合にその第 2 状態の待機に対する外端出力が前記所定端子から行われるようにするための前記外端用処理が実行されない構成であり、

所定状態である場合、前記所定契機が発生したとしてもその所定契機の発生に対する前記第 2 状態の設定及びその所定契機の発生に対する前記待機記憶領域への前記待機情報の設

50

定の両方が実行されない構成であり、

前記第 1 制御手段は、

前記待機情報設定手段により前記待機情報が前記待機記憶領域に設定された場合に所定送信情報を送信する所定送信手段と、

前記待機後設定手段により前記待機情報に対応する前記第 2 状態が実行対象に設定された場合、特定送信情報を送信する特定送信手段と、

を備え、

前記第 2 制御手段は、

前記所定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、

前記特定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

10

【請求項 2】

第 1 制御手段と、

当該第 1 制御手段から送信された送信情報に基づいて表示手段にて当該送信情報に対応する表示が行われるようにするための処理を実行する第 2 制御手段と、

を備え、

前記第 1 制御手段は、

所定契機が発生したことに基づいて、所定事象の期待度が第 1 状態とは異なる第 2 状態に設定する設定手段と、

前記第 2 状態である状況において、新たな前記第 2 状態の実行を待機させることを可能とする契機が発生した場合に待機情報を待機記憶領域に設定する待機情報設定手段と、

20

前記待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合に当該待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する待機後設定手段と、

を備え、

前記待機記憶領域は、

前記待機情報を記憶可能である第 1 待機記憶領域と、

前記待機情報を記憶可能である第 2 待機記憶領域と、

を備え、

前記待機後設定手段は、前記第 1 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況であって前記第 2 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合、前記第 1 待機記憶領域に記憶されている前記待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する構成であり、

30

前記所定契機が発生したことに基づいて前記第 2 状態となった場合にその第 2 状態に対する外端出力が所定端子から行われるようにするための外端用処理が実行され、前記第 2 状態である状況において前記第 2 状態の実行が待機される場合にその第 2 状態の待機に対する外端出力が前記所定端子から行われるようにするための前記外端用処理が実行されない構成であり、

所定状態である場合、前記所定契機が発生したとしてもその所定契機の発生に対する前記第 2 状態の設定及びその所定契機の発生に対する前記待機記憶領域への前記待機情報の設定の両方が実行されない構成であり、

40

前記第 1 制御手段は、

前記待機情報設定手段により前記待機情報が前記待機記憶領域に設定された場合に所定送信情報を送信する所定送信手段と、

前記待機後設定手段により前記待機情報に対応する前記第 2 状態が実行対象に設定された場合、特定送信情報を送信する特定送信手段と、

を備え、

前記第 2 制御手段は、

前記所定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、

前記特定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、

50

を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ここで、上記例示等のような遊技機においては好適に遊技の興趣向上を図る必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、好適に遊技の興趣向上を図ることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項 1 記載の発明は、第 1 制御手段と、
当該第 1 制御手段から送信された送信情報に基づいて表示手段にて当該送信情報に対応する表示が行われるようにするための処理を実行する第 2 制御手段と、
を備え、

前記第 1 制御手段は、

所定契機が発生したことに基づいて、所定事象の期待度が第 1 状態とは異なる第 2 状態に設定する設定手段と、

前記第 2 状態である状況において、新たな前記第 2 状態の実行を待機させることを可能とする契機が発生した場合に待機情報を待機記憶領域に設定する待機情報設定手段と、

前記待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合に当該待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する待機後設定手段と、

を備え、

前記待機記憶領域は、

前記待機情報を記憶可能である第 1 待機記憶領域と、

前記待機情報を記憶可能である第 2 待機記憶領域と、

を備え、

前記待機後設定手段は、前記第 1 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況であって前記第 2 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合、それら待機情報のうち優先度が高い側の待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する構成であり、

前記所定契機が発生したことに基づいて前記第 2 状態となった場合にその第 2 状態に対する外端出力が所定端子から行われるようにするための外端用処理が実行され、前記第 2 状態である状況において前記第 2 状態の実行が待機される場合にその第 2 状態の待機に対する外端出力が前記所定端子から行われるようにするための前記外端用処理が実行されない構成であり、

所定状態である場合、前記所定契機が発生したとしてもその所定契機の発生に対する前記

10

20

30

40

50

第 2 状態の設定及びその所定契機の発生に対する前記待機記憶領域への前記待機情報の設定の両方が実行されない構成であり、
前記第 1 制御手段は、
前記待機情報設定手段により前記待機情報が前記待機記憶領域に設定された場合に所定送信情報を送信する所定送信手段と、
前記待機後設定手段により前記待機情報に対応する前記第 2 状態が実行対象に設定された場合、特定送信情報を送信する特定送信手段と、
を備え、
前記第 2 制御手段は、
前記所定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、
前記特定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、
を備えていることを特徴とする。
また、請求項 2 記載の発明は、第 1 制御手段と、
当該第 1 制御手段から送信された送信情報に基づいて表示手段にて当該送信情報に対応する表示が行われるようにするための処理を実行する第 2 制御手段と、
を備え、
前記第 1 制御手段は、
所定契機が発生したことに基づいて、所定事象の期待度が第 1 状態とは異なる第 2 状態に設定する設定手段と、
前記第 2 状態である状況において、新たな前記第 2 状態の実行を待機させることを可能とする契機が発生した場合に待機情報を待機記憶領域に設定する待機情報設定手段と、
前記待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合に当該待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する待機後設定手段と、
を備え、
前記待機記憶領域は、
前記待機情報を記憶可能である第 1 待機記憶領域と、
前記待機情報を記憶可能である第 2 待機記憶領域と、
を備え、
前記待機後設定手段は、前記第 1 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況であって前記第 2 待機記憶領域に前記待機情報が記憶されている状況において実行対象の前記第 2 状態が終了した場合、前記第 1 待機記憶領域に記憶されている前記待機情報に対応する前記第 2 状態を実行対象に設定する構成であり、
前記所定契機が発生したことに基づいて前記第 2 状態となった場合にその第 2 状態に対する外端出力が所定端子から行われるようにするための外端用処理が実行され、前記第 2 状態である状況において前記第 2 状態の実行が待機される場合にその第 2 状態の待機に対する外端出力が前記所定端子から行われるようにするための前記外端用処理が実行されない構成であり、
所定状態である場合、前記所定契機が発生したとしてもその所定契機の発生に対する前記第 2 状態の設定及びその所定契機の発生に対する前記待機記憶領域への前記待機情報の設定の両方が実行されない構成であり、
前記第 1 制御手段は、
前記待機情報設定手段により前記待機情報が前記待機記憶領域に設定された場合に所定送信情報を送信する所定送信手段と、
前記待機後設定手段により前記待機情報に対応する前記第 2 状態が実行対象に設定された場合、特定送信情報を送信する特定送信手段と、
を備え、
前記第 2 制御手段は、
前記所定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、
前記特定送信情報を受信した場合にそれに対応する表示処理を実行する手段と、

10

20

30

40

50

を備えていることを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明によれば、好適に遊技の興趣向上を図ることが可能となる。

10

20

30

40

50